

疼痛評価スケール統一前後での術後疼痛管理状況の比較

2023年8月1日から2023年10月31日および2024年8月1日から2024年10月31日に当院において全身麻酔および硬膜外麻酔やIVPCA（経静脈患者管理鎮痛法）を受けられた患者さん

研究協力をお願い

日本医科大学多摩永山病院中央手術室では「疼痛評価スケール統一前後での術後疼痛管理状況の比較」という研究を行います。この研究は、2023年8月1日から2023年10月31日および2024年8月1日から2024年10月31日に当院において手術を受けられた患者さんの術後の痛みの変化を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただき、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

(1) 研究の概要について

研究課題名：疼痛評価スケール統一前後での術後疼痛管理状況の比較

研究予定期間：研究機関の長の実施許可日～2025年2月15日

調査対象期間：2023年8月1日から2023年10月31日および2024年8月1日から2024年10月31日

研究責任者：日本医科大学多摩永山病院 看護部 中央手術室 正治華

(2) 研究の意義、目的について

術後の疼痛評価スケールの説明開始前後で、疼痛の程度、硬膜外麻酔やIVPCA（経静脈患者管理鎮痛法）の臨時鎮痛薬の使用回数、歩行までの期間、在院日数の変化を調査し明らかにすることを目的としています。

術後疼痛管理の状況を今回の研究によって明らかにすることで、適切な術後疼痛管理へつなげることができるのではないかと考えます。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2023年8月1日から2023年10月31日および2024年8月1日から2024年10月31日に日本医科大学多摩永山病院にて、全身麻酔および硬膜外麻酔やIVPCA（経静脈患者管理鎮痛法）受けられた患者さんの術式別に術後の疼痛の変化や臨時鎮痛薬の使用の状態を集計し、疼痛評価スケール使用の実態調査を行います。

この研究は、患者さんの以下の情報を用いて行われます。

情報：年齢、性別、術式、在院日数、離床日数、手術時間、硬膜外麻酔、経静脈患者管理鎮痛法の有無、等

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

担当者：中央手術室 看護師 正治 華

日本医科大学多摩永山病院 倫理委員会事務局

〒206-8512 東京都多摩市永山1丁目7-1

電話番号：042-371-2111（代表） 内線：2302

メールアドレス：nagayama-chiken_center@nms.ac.jp